

# 保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

オーブンレンジ	品番 YMW-W16G1
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒	★電話番号 ( ) -
保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体 1 年間（但し付属品は除く）	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 消耗部品の交換 仕様変更 } 等
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、30ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号

受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

Y12

## 取扱説明書

オーブンレンジ

品番 YMW-W16G1

一般家庭用

（業務用としては使用しないでください）

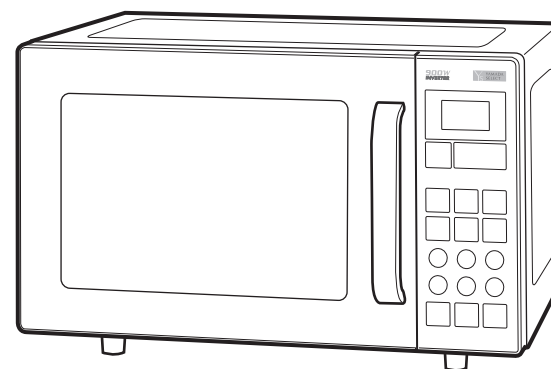
保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。  
特に1～4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。  
**This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.**

YS YAMADA SELECT



## もくじ

ページ

安全上のご注意	1～4
設置について	5
仕様	6
各部のなまえ	7～8
使える容器・使えない容器	9
加熱のしくみ	10
知っておいていただきたいこと	11
はじめてご使用になる前に	12
使いかた	13～27
●ご飯やおかずをあたためる	13～14
●トーストを焼く	15
●お弁当やお惣菜などをあたためる	16
●飲み物(牛乳やコーヒーなど)をあたためる	17
●野菜をゆでる	18
●解凍・半解凍する	19
●揚げ物(フライや唐揚げなど)をあたためる	20
●レンジを使う 手動調理	21～22
●グリルを使う 手動調理	23
●オーブンを使う(予熱あり) 手動調理	24
●オーブンを使う(予熱なし・発酵) 手動調理	25
●キッチンタイマー	26
●消音モード	26
●チャイルドロック設定	27
愛情点検	27
お手入れ	28
故障かな?と思ったら	29
修理サービスについて	30
保証書	裏表紙

取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。  
包装箱に表示している品番の( )内の記号が色記号です。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。  
その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

	<b>危険</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容。
	<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
	<b>注意</b>	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

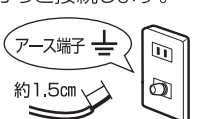
●本文中の絵表示の意味です。

 禁止	○は、してはいけない 「禁止」の内容です。	 一般的な禁止	 分解禁止	 接触禁止
		 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	
 強制	●は、必ず実行していただく 「強制」の内容です。	 必ず行う	 電源プラグを抜く	
		 アース線を接続する		

## 危険














	吸気口・排気口・穴などにピンや針金など、異物を入れない 感電や異常動作をしてけがをするおそれがあります。		絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。
--	---	--	--







## 警告















	アースを確実に取り付ける 確実に取り付けられていないと、万一故障や漏電をしたときに感電するおそれがあります。 [アースの取り付け方] アース線の先端の被覆を約1.5cmむき、アース付コンセントのアース端子にしっかりと接続します。 ※コンセントにアース端子がない場合はお買上げの販売店にアース工事(有料)をご相談ください。 		煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出る場合はすぐに電源プラグを抜いて、修理を依頼する
	湿気の多いところ(地下室など)や洗い場の近くなど水のかかりやすいところに設置する場合は、必ずアース線に加え「漏電しゃ断器」をつけてください。		電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。
	次のところへはアース線を接続しないでください。 ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線		お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・ショート・けがのおそれがあります。

## 警告

	電源は、交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。		異常・故障時には、ただちに使用を中止する 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。  ＜異常・故障例＞ ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ●異常なおいや音がある。 ●ドアに著しいガタや変形がある。 ●触れると電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。  ※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。
	電源プラグは清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。発煙・発火・火災の原因となります。		油脂の多い食品・液体*1、粒入りスープ*2を加熱するときは突沸に注意する 加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があり、やけどの原因となります。 *1…バター・生クリーム・オリーブ油など *2…コーンの粒やあさりなどが入ったスープ・小豆の粒が入ったおしるこなど
	お子さまのいたずらに注意する 倒したり、上にのったりして、けが・感電・やけど・故障のおそれがあります。		缶詰・ビン詰・レトルト袋などの食品は別の容器に移してから加熱する。また、鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しない 発火や破裂して、やけど・けがの原因となります。
	加熱するときは、設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する 食品の分量に対して加熱時間が長いと、発火・発煙・やけどの原因となります。 特に、少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、さつまいもなどの根菜類の加熱にはご注意ください。		容器を使用するときは、広口で背の低い容器を使用し、8分目まで入れる 少量の加熱は、沸騰による飛び散りの原因となります。
	殻や膜などのある食品(トマト・イカ・栗・銀杏など)は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する そのまま加熱すると、破裂して、やけど・けがの原因となります。		加熱前、加熱後は必ずスプーンでかき混ぜる 加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があり、やけどの原因となります。
	卵はそのまま加熱しないでよく割りほぐしてから加熱する 破裂して、やけど・けがの原因となります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。
	食品を加熱しすぎない 加熱しすぎると、食品が炭化し、発煙・発火に至る場合があります。 万一発煙・発火した場合は次のことを行ってください。 ●すぐに電源プラグを抜く ●ドアを開けずに鎮火するのを待つ ●鎮火しない場合は消化器で消火する 処理後はそのまま使用せず、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。		電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。  感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。

⚠ 警 告	
 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない やけど・感電・けがの原因となります。	 ドアが破損したり、ドアのロックに異常がある場合は使用しない 電波が漏れて、人体に障害を与えるおそれがあります。
 ゆで卵の加熱はしない 破裂して、やけど・けがの原因となります。	 電源コードや電源プラグが傷ついたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。 すぐにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。 修理技術者以外の方が、修理をしないでください。
 延長コードを使用しない 火災・やけどの原因となります。	
 調理以外の目的で使用しない 発熱や異常動作をして発火・火災の原因となります。 ●湯たんぽの加熱 ●おしぼりの加熱・乾燥 ●哺乳ビンの消毒 ●衣類の乾燥 など	 飲み物を加熱しすぎない 加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があります。やけどの原因となります。 加熱しすぎたときは、そのまま 20～30 秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。
 燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものやカーテンなどの近くで使用しない 火災のおそれがあります。	 熱に弱い敷物（畳・じゅうたん・テーブルクロスなど）の上には置かない 火災の原因となります。
 本体の上に水や、その他の液体の入ったものを置かない 水分がこぼれて、感電・故障の原因となります。	 業務用として使用しない 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないてください。
 めれた手で電源プラグを抜きさししない ショート・感電・けがの原因となります。 ぬれ手禁止	 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない 感電・ショート・発火・故障の原因となります。 水ぬれ禁止

⚠ 注 意	
 本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜き本体が冷えてから行う 感電・やけどのおそれがあります。	 お弁当をあたためるときは、ふたやラップを外し、ゆで卵・アルミケース・調味料類は取り出す 火花が出たり、破裂によるけが・やけどをするおそれがあります。
 本体を移動するときは必ず電源プラグを抜き、アース線を外して移動する けが・故障の原因となります。	 壁との間を空けて置く 過熱して発火するおそれがあります。
 使用後はお手入れをする 雑菌が繁殖したり、発火・故障の原因となります。	 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く けがや絶縁劣化による感電・ショート・火災の原因となります。 電源プラグを抜く

⚠ 注 意	
 ガソリン・シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤・灯油・ベンゾール・アルコール・みがき粉などで拭かない。また、殺虫剤などをかけない 樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因となります。	 庫内に付着した調理物や油を放置したまま加熱しない 発煙・発火の原因となります。 必ず庫内が冷えてから拭きとってください。 ドアに付着した汚れは必ず拭きとってください。
 工場や厨房など多量の粉じんや油脂の発生するところに設置しない 火災・故障の原因となります。	 直射日光の当たる場所など高温になる場所に置かない 熱による変形・変色の原因となります。
 壁や家具の近くで使用しない 熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。	 水のかかるところや、火気の近くでは使用しない 感電・漏電の原因となります。
 ドアにものを挟んだまま使用しない 電波漏れによる障害が起きることがあります。	 本体の上にものを置かない 過熱して焦げたり、変形するおそれがあります。
 ドアに無理な力や衝撃を加えない 本体が倒れたり、変形して電波漏れや故障の原因となります。	 屋外や車の中で使用しない 本製品は屋内専用です。熱による変形・変色・感電・故障の原因となります。
 お弁当は、「1.あたため」メニューを使用してあたためない 容器が変形したり、溶けたりするおそれがあります。	 テレビ・ラジオ・パソコンなど電子機器の近くで使わない 雑音や通信速度の低下などが発生するおそれがあります。
 衣類の乾燥など調理以外の目的に使用しない 過熱や異常動作をして発火・やけどの原因となります。	 加熱中や、加熱後しばらくは内部・ドアなどの高温部に触れない やけどの原因となります。 調理品を取り出すときはミトンなどをご使用ください。 食品のラップを外すときは熱い蒸気などにご注意ください。

お 願 い	
乳児のミルクなどのあたためは仕上がり温度を確認する 中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度を確認してください。 やけどのおそれがあります。	庫内が汚れたまま加熱しない 発火・発煙のおそれがあります。
	加熱中は庫内を時々確認する
レンジ加熱を行う前に容器の材質などを確認する 金属容器・アルミホイル・非耐熱のガラスなどを使用すると火花が出て発火・発煙したり、ガラスが破損することがあります。	加熱終了後、ファンが回っているときは、電源プラグを抜かない 加熱を終了しても、本体が高温になっているときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。



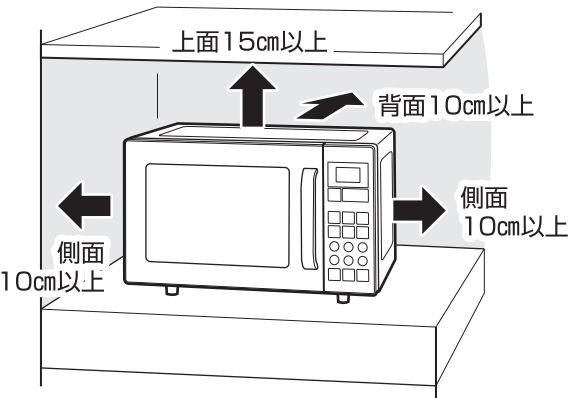
# 設置について

## 置き場所のご注意



### ご使用になる場所の安全を確認する

- 本体上面は15cm以上、背面は10cm以上、左右側面は10cm以上、どちらか一方を開放してください。また、前面は何もない状態にしてください。
- 水平で丈夫な床の上に置いてください。
- 燃えやすいものの近くに置かないでください。
- カーテンの開閉や揺らぎにご注意ください。
- 本体の上に腰掛けたり、ものをのせないでください。
- 上方からの落下物のおそれのないところでご使用ください。



## アース線を取り付ける

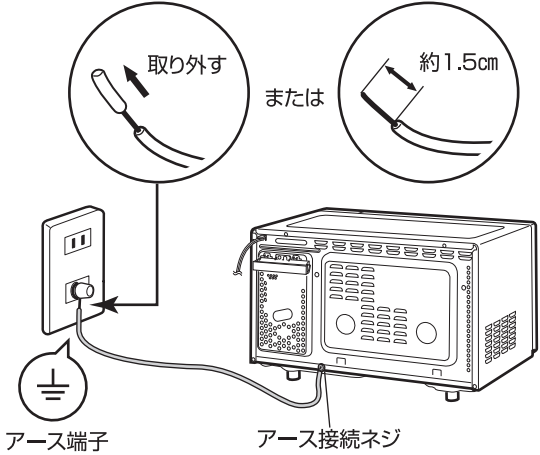


アース線を  
接続する

### アースを確実に取り付ける

アースが確実に取り付けられていないと故障や漏電のときに、感電の原因となります。

- コンセントにアース端子がある場合
  - ① アース線先端の被覆を外します。または線の先端の被覆を約1.5cmむきます。
  - ② アース付きコンセントのアース端子にしっかり接続します。
- コンセントにアース端子がない場合  
お買上げの販売店にアース工事（有料）をご相談ください。



警告

ガス管・水道管・避雷針・電線のアース線には絶対に接続しないでください。

# 仕様

共通仕様	品番	YMW-W16G1
	定格容量	16L
	電源	100V（50-60Hz共用）
	庫内加熱有効寸法	(約) 幅 280 × 奥行き 286 × 高さ 164 (mm)
	丸皿直径	260 mm
	製品外形寸法	(約) 幅 461 × 奥行き 338 (365※) × 高さ 290 (mm)
	電源コード	約1.5m
電子レンジ	質量	約10.4kg
	消費電力	1400W
	高周波出力	900W（900Wでの連続運転は約2分です）
グリル	発振周波数	2450MHz
	消費電力	1250W
オーブン	ヒーター出力	1200W
	消費電力	1250W
	ヒーター出力	1200W
オーブン	温度調節	40℃（発酵）・100～200℃

※（ ）内は、ドア取っ手を含む奥行き寸法です。

## 消費電力量の目安

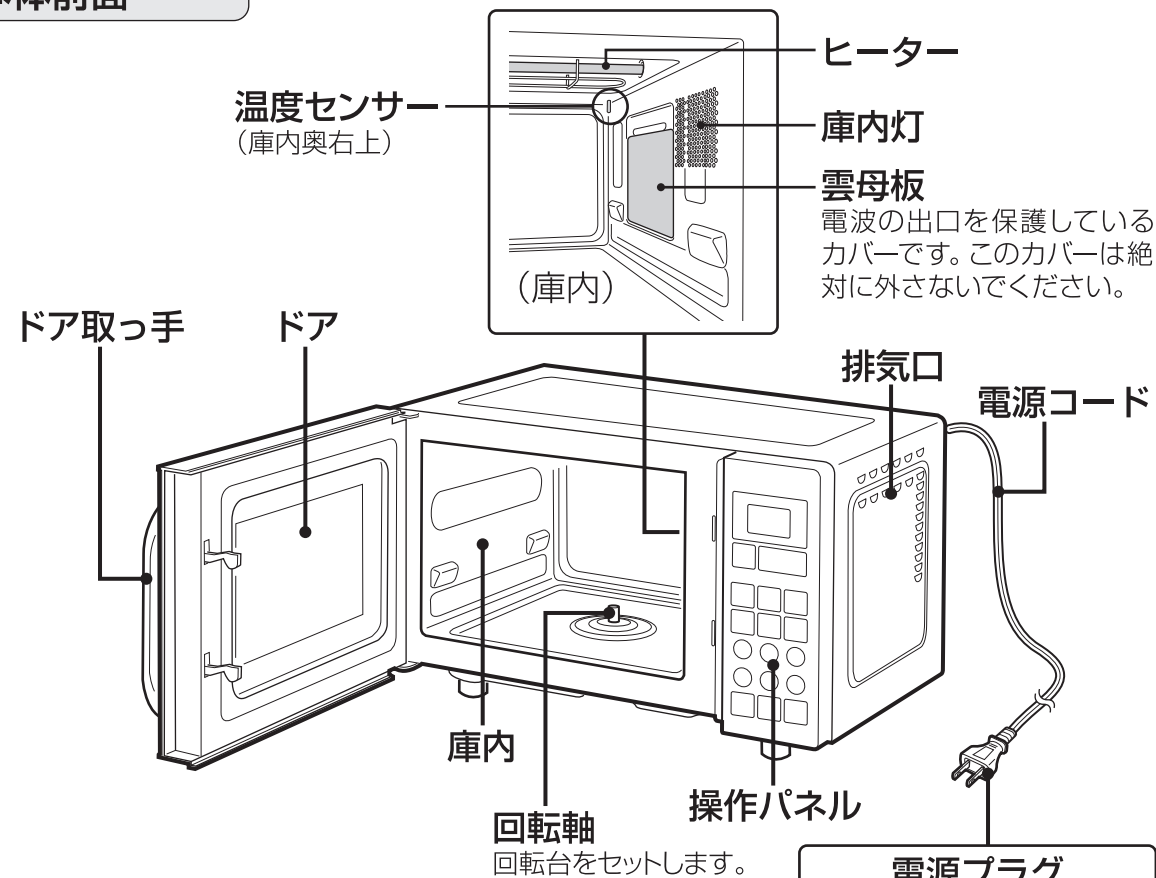
区分名	B
電子レンジ機能の年間消費電力量	61.0kWh/年
オーブン機能の年間消費電力量	12.1kWh/年
年間待機時消費電力量	0.0kWh/年
年間消費電力量	73.1kWh/年
省エネ達成率	100%

- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY
- 定格容量とは JIS の規定に基づいて算出された容量のことです。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定法による数値です。(区分名も同法に基づいています)
- 実際の消費電力量は、使用回数や使用時間・食品の量・温度などによって変化します。目安としてご覧ください。
- 電源プラグをコンセントにさし込み、ドアが閉まった状態で表示が消灯しているときの消費電力は「0」W です。

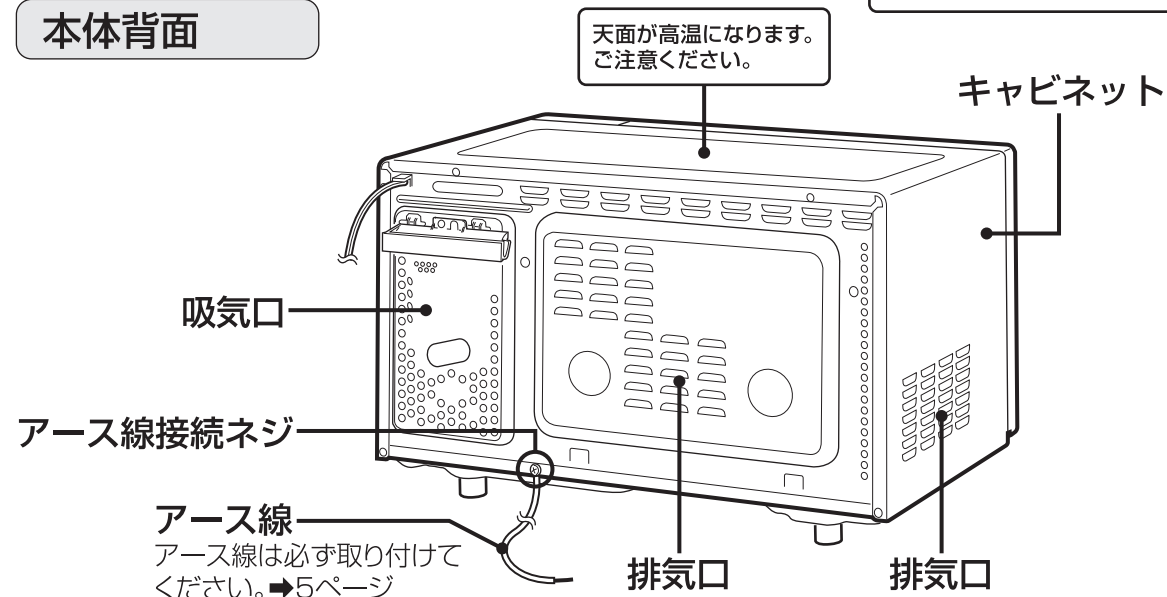


# 各部のなまえ

## 本体前面



## 本体背面



## 操作パネル

### 表示部

出力や調理時間などを表示します。表示部に“0”が表示されていないときは、待機状態(省エネ)のため操作できません。ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。  
※説明のためすべての文字を表示しています。

### とりけしキー

設定を間違えたときや、加熱を途中でとりけしたいときに使います。

### 仕上がり調節／オープン温度キー

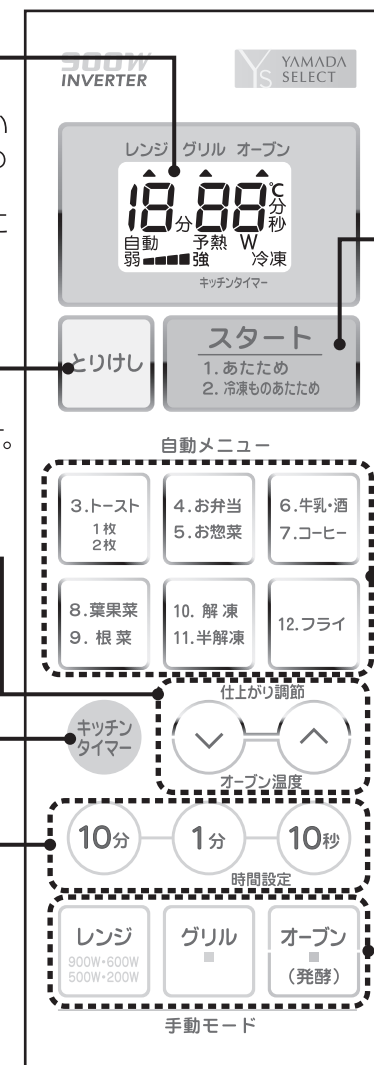
レンジでの仕上りの調節や、オープンで加熱温度を設定するときに使います。

### キッチンタイマー

→26ページ

### 時間設定キー

手動調理やキッチンタイマーの時間設定を設定するときに使います。  
→21～26ページ



### スタートキー

動作を開始するときに使います。加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め、再度スタートキーを押すと加熱を継続します。  
1. あたため / 2. 冷凍ものあたためキーを押すと自動でレンジ加熱を開始します。  
→13ページ

### 自動メニューキー

温度や時間の設定を自動で行います。  
3. トースト……………15ページ  
4. お弁当 / 5. お惣菜……………16ページ  
6. 牛乳・酒 / 7. コーヒー……………17ページ  
8. 葉果菜 / 9. 根菜……………18ページ  
10. 解凍 / 11. 半解凍……………19ページ  
12. フライ……………20ページ

### 手動モードキー

手動調理を行うときに使います。  
→21～25ページ

## 付属品



回転台 1枚

回転軸に取り付けて使用してください。トーストは、丸皿を使用せずに回転台に直接置いて焼いてください。



丸皿 1枚

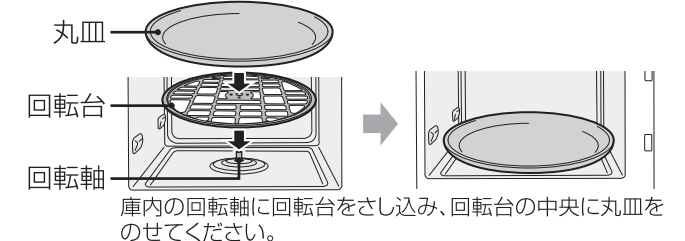
落下、強い衝撃などをあたえないようにご注意ください。特に、容器や食器を出し入れするときは十分ご注意ください。

## 準備

回転台と丸皿をセットしてください。

## お願い

ご使用時には、丸皿の汚れや水分をよく拭きとってください。発煙・発火のおそれがあります。



# 使える容器・使えない容器

本製品で利用できる容器と使用できない容器があります。ご使用前に下の表をご確認の上、正しくお使いください。「加熱方法」について詳しくは「加熱のしくみ」➡10ページをご参照ください。

加熱方法	○ 使える容器
レンジ加熱 と ヒーター加熱	<div>○ 耐熱ガラス</div> <div>● 耐熱ガラス容器は、電子レンジに最適です。 ※急冷・急熱で割れることがあります。</div>
レンジ加熱	<div>○ 耐熱プラスチック 陶器・磁器 耐熱性のあるラップ</div> <div>● 耐熱プラスチックは耐熱温度が140℃以上または「電子レンジ使用可能」の表示があるもの。 ※油脂の多い食品などは高温になるため使えません。 ※ふたは熱に弱いものがありますのでご注意ください。 ● ふだんお使いの陶磁器はあらゆる料理のあたためや調理にお使いいただけます。 ※金粉・銀粉のほどこされているものは器を傷めたり、火花が飛ぶことがありますので使えません。 ● 耐熱性のあるラップは、耐熱温度が140℃以上のもの。 ※油脂の多い食品などは高温になるため使えません。</div>
ヒーター加熱 (オープン またはグリル)	<div>○ 金属製容器・アルミホイル</div>

加熱方法	✕ 使えない容器
レンジ加熱 と ヒーター加熱	<div>✕ 一般ガラス・強化ガラス (耐熱でない) プラスチック (耐熱でない) 漆器・竹・紙・木製品</div> <div>● 一般ガラスは、耐熱性がないので割れます。強化ガラスも使えません。 ● プラスチックは、溶けたり、燃えたりするので使えません。ポリスチレン・フェノール・メラミン・ユリアなども使えません。 ● 漆器・竹・紙・木製品は、耐熱性がないので、塗りがはがれたり、ひび割れを起こすことがあります。特に、針金などを使用しているものは発火(スパーク)することがあります。ただし、オープンシートは使えます。</div>
レンジ加熱	<div>✕ 金属製容器・金属の 絵付けをされた 陶器・磁器 アルミホイル</div> <div>● 金属製容器・金属の絵付けをされた陶磁器は、電波を反射し、調理ができません。</div>
ヒーター加熱 (オープン またはグリル)	<div>✕ 耐熱プラスチック 陶器・磁器 耐熱性のあるラップ</div> <div>● 耐熱プラスチックは、原則使えません。ただし、「オープン・トースト・グリル使用可」の表示のあるものは使えます。 ● 陶磁器は、原則使えません。ただし、耐熱性のある陶磁器やグラタン皿などは使えます。 ● ラップは溶けたり、燃えたりするので使えません。</div>

\*レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。

# 加熱のしくみ

## レンジ加熱のしくみ

電波(高周波)で食品を内と外から同時に加熱します。

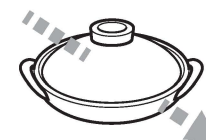
- 電波(高周波)が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

### 電波の特性

水分のある食品は、吸収されます。



耐熱性のあるガラス容器、陶器などは、透過します。



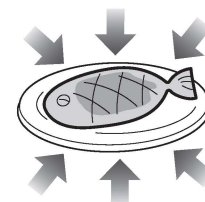
金属製の器などは、反射します。



## ヒーター加熱のしくみ

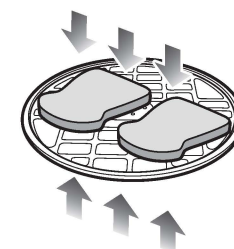
### オーブン加熱

庫内全体を上下のヒーターと温度センサーで一定に保ち、加熱し焼き上げます。



### グリル加熱

上下のヒーターで食品の表面を加熱し、焼き色をつけたり、様子を見ながら追加焼きをします。



## レンジ+ヒーター加熱のしくみ

電波(高周波)とヒーターで同時に加熱します。

- 「12.フライ」メニュー(➡20ページ)で調理するときに、自動で加熱します。

## 警告

手動調理でレンジ加熱をするときは、加熱のしすぎに注意する

設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。

### <加熱しすぎた場合の事例>

- ごはん類・ドライフルーツ・ミックスベジタブル  
➡白煙があがり、炭化します。
- 食品トレイのお弁当・お惣菜  
➡食品トレイが変形したり溶けたりします。
- 耐熱プラスチック  
➡ふたをした状態で加熱を行うと、ふたが変形します。

油脂の多い食品・液体\*1、粒入りスープ\*2を加熱するときは突沸に注意する

加熱後、取り出したあとに、突然沸騰(突沸)して飛び散る場合があります。やけどの原因となります。

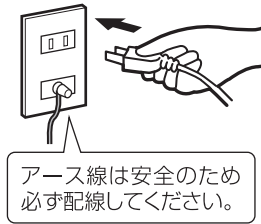
- \*1… バター・生クリーム・オリーブ油など
- \*2… コーンの粒やあさりなどが入ったスープ・小豆の粒が入ったおしるこなど



# 知っておいていただきたいこと

## 電源を入れるには

- 電源プラグをコンセントにさし込み、ドアを開閉して表示部に“0”を表示させます。
- 表示部に“0”と表示されている間のみ各種操作をすることができます。
- 表示部のオレンジ色は、無操作状態および調理終了後約1分経過後消灯します。
- “0”と表示されている時間が「5分以上」経つと自動で電源がOFFになり待機状態（表示部の“0”が消灯）になります。（省エネ設計）
- 再度電源を入れるにはドアを一度開閉してください。電源が入り表示部に“0”と表示されます。



アース線は安全のため必ず配線してください。

## 加熱モードについて

- 本製品は、電波(高周波)であたためる「レンジ加熱」とヒーターであたためる「オープン加熱」/「グリル加熱」の3種類の方法で食品を加熱します。  
詳しくは「加熱のしくみ」➡10ページをご参照ください。
- あたためる方法には温度や時間の設定を自動で行う「自動メニュー」と手動で設定を行う「手動モード」(手動調理)があります。調理の内容に合わせて最適の方法を選んでください。  
詳しい操作方法はそれぞれの「使いかた」➡13～25ページをご参照ください。
- 加熱中ドアを開くと運転が止まります。再開するときはドアを閉め「スタートキー」を押してください。
- 自動メニュー(「トーストを焼く」を除く)は食品と容器の総重量を重量センサーが検知して加熱時間が決まるしくみになっています。  
※容器の重量によって加熱しすぎる場合があります。

## 時間・質量設定について

- 設定できる最長時間は「900W」のときは15分、「600W」「500W」のときは30分、「200W」のときは60分です。  
※900Wでの連続運転は約2分です。その後、600Wに自動で切り替わります。
- 解凍モードでの解凍質量は「10.解凍(肉・魚):100g～400g、11.半解凍(さしみ):300g～500g」です。

## 調理が終了したとき

- 加熱が終了すると「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴り、表示部には“0”を表示します。
- やけどに注意して食品を取り出してください。加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- 加熱終了後(お知らせ音が鳴り、表示部には“0”を表示)、本体が高温のとき電子部品を保護するため一定時間冷却ファンが動作する場合(表示部に“Fan”を表示)があります。

## キッチンタイマーについて 26ページ

- 最大設定時間は「90分」です。
- 「20分」以上設定のときは、秒の設定はできません。
- タイマー動作終了後は、お知らせ音が鳴ります。
- タイマー動作中は、他の加熱機能は使用できません。
- タイマー動作中に「とりけし」キーを押すと、タイマー動作が終了します。

## チャイルドロック設定について 27ページ

- 小さなお子さまの誤った操作による事故やけがを未然に防ぐことができます。

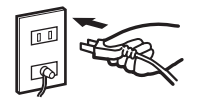
## 消音モードについて 26ページ

- 操作音・加熱終了音・お知らせ音が鳴らないように設定できます。  
※キッチンタイマーお知らせ音・予熱完了音など消音モード中でも鳴る音があります。

# はじめてご使用になる前に

## 重量センサーの「0点調節」をする ※回転台と丸皿をセットしてから行ってください。

- 1 回転台と丸皿をセットする  
※丸皿は回転台の中央にセットしてください。
- 2 電源プラグをコンセントにさし込む
- 3 ドアを開閉し表示部に“0”を表示する
- 4 を押しながら を押す



- 丸皿が回転し約10秒経過すると「ピッ」終了音が鳴り、表示部に“0d”と表示します。  
※0点調節中にドアを開けたり、1分すぎたから操作を行った場合は「0点調節」ができませんので手順2から「0点調節」を行ってください。

- 5 を押すと0点調節が完了

※0点調節をせずに回転台と丸皿をセットして使用した場合、表示部に「C11」が表示されます。  
※よい仕上がりを保つために1ヶ月に1回程度「0点調節」を行ってください。

## 空焼きをする ※はじめてご使用になる前に、油やにおいを取り除くため空焼きを行ってください。

- 1 庫内に何もセットせずにドアを閉める

### 使用上のご注意

- 庫内の回転台と丸皿は外してください。

- 2 を2回押す

- “予熱”が消灯します。

- 3 を押して200℃に設定する

- 押すたびに10℃単位で100℃～200℃の範囲で設定できます。

- 4 を押して時間を20分に設定する

- 5 を押す

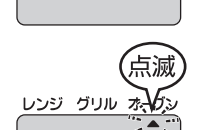
- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され空焼きが始まります。  
※空焼き中は冷却ファンが自動で「ON/OFF」します。

### 空焼き完了

終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。  
※続けて調理を行う場合は、ドアを開け庫内を十分に冷やしてから行ってください。

## お願い

- 換気のために、窓を開けたり換気扇を回したりしてください。
- 油の焦げるにおいや煙が出たりすることがありますが、異常ではありません。
- 空焼きは連続して行わないでください。
- 空焼き後に庫内底面に汚れやしみなどが出る場合があります。庫内が冷えてからお手入れを行ってください。
- 空焼きをせずに調理を行ってしまった場合でも食品には影響はありません。



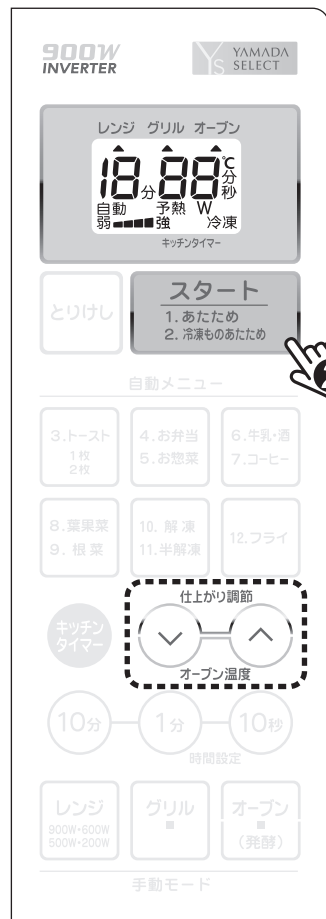


# 使いかた

自動メニュー

ご飯やおかずをあたためる

※食品トレイに入ったお弁当やお惣菜などは、「使いかた|お弁当やお惣菜などをあたためる」  
 ➔16 ページをご参照ください。

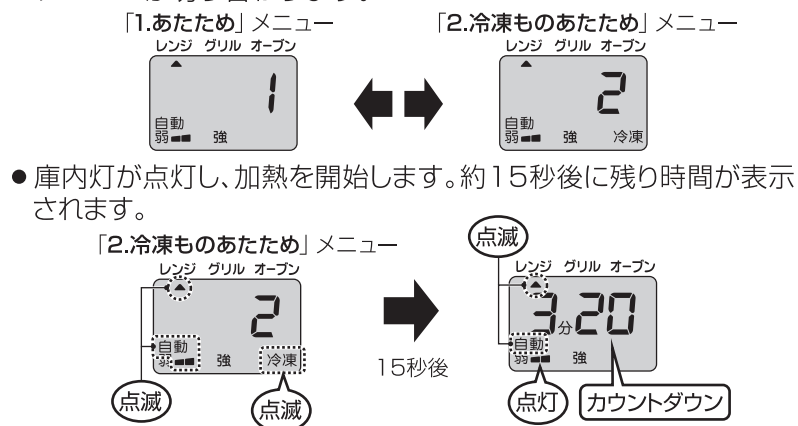


## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に「0」を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

## 2 スタート を押し、メニューを選択する

- 「1.あたため」メニューを選択する場合は1回押す
- 「2.冷凍ものあたため」メニューを選択する場合は2回押す
- ※押すたびに「1. あたため」メニュー ➔ 「2. 冷凍ものあたため」メニューが切り替わります。



仕上がりの強さを調節したいときは…

- 加熱時間が1～2割長くなります。
- 加熱時間が1～2割短くなります。
- ※仕上がりの調節は加熱開始から15秒以内に行ってください。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。

## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には「0」を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の「0」が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に「Fan」を表示します。

加熱が足りないときは…

レンジの手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。  
 ➔21～22ページ参照

### お知らせ

- 加熱時間は、料理の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたため/スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「とりけし」キーを押して、設定を解除(表示部は「0」を表示)してください。

自動メニューは食品と容器の総重量を重量センサーが検知して加熱時間が決まるしくみになっています(自動メニュー「トーストを焼く」を除く) ※容器の重量によって加熱しすぎる場合があります

あたため前の食品の温度や種類によって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。  
 ※食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらも参考にしてください。

- 「1.あたため」メニュー(常温・冷蔵食品のあたため)  
 ※容器の重さは含みません。容器は130gから150gのものをお使いください。

食品の種類	分量	ラップ・ふた	説明
ごはん	1～4人分(約150～600g)	しない	かたいときは、水または酒をふりかける。
チャーハン			
コンソメスープ	1～4人分(約150～600ml)	しない	加熱後は混ぜる。
ポタージュスープ		する	表面に膜ができるのを防ぐためにラップをする。加熱後は混ぜる。
焼き魚	1～4人分(約100～400g)	しない	ソース類は加熱後食品にかける。(飛び散りや焦げつきを防ぐため)
ハンバーグ			
天ぷら	1～4人分(約100～400g)	しない	平らな皿に重ならないようにのせる。仕上がりを弱めに調節する。自動メニューの「12.フライ」で加熱する。
コロッケ			
とんかつ			
ハンバーグ	1～4人分(約100～400g)	する	乾いているときはバターやサラダ油を少量加えて加熱する。加熱後は混ぜる。
スパゲティ			
焼きそば			
シュウマイ	1～4人分(約150～600g)	する	平らな皿に重ならないようにのせる。表面が乾燥しないようにラップをする。
野菜炒め	1～4人分(約150～600g)	しない	煮汁があるときは、少し加えて加熱する。加熱後は混ぜる。
煮物		する	深めの耐熱容器に入れ加熱する。加熱後は混ぜる。
カレー・シチュー			

- 「2. 冷凍ものあたため」メニュー(冷凍食品のあたため)

食品の種類	分量	ラップ・ふた	説明
ごはん	1～4人分(約150～600g)	する	ラップに包んだまま、皿や耐熱容器に入れ加熱する。
ピラフ	1～2人分(約250～500g)		平らな皿にのせ、ほぐして加熱する。
コンソメスープ	1～2人分(約150～400ml)	する	深めの耐熱容器に入れ加熱する。加熱後は混ぜる。
ポタージュスープ			
ハンバーグ	1～4個(約100～400g)	する	仕上がりを調節を強めにする。
スパゲティ	1～4人分(約100～400g)	する	加熱後は混ぜる。
焼きそば			
シュウマイ	10～20個(約100～300g)	する	表面が乾かないように、軽く水にくぐらせる。天ぷら敷紙やキッチンペーパーなどを敷いた皿にのせる。
カレー・シチュー	1～2人分(約100～400g)	する	深めの耐熱容器に入れ加熱する。加熱後は混ぜる。
酢豚			
ミックスベジタブル	約100～300g	する	耐熱容器に入れ加熱する。
さやいんげん			
コーン			

## 必ずお守りください

- 「1.あたため」/「2.冷凍ものあたため」メニューであたためる場合は、100g未満の食品はあたためないでください。発火のおそれがあります。
- 冷凍野菜(ミックスベジタブル)は、少量の加熱はしないでください。発火・発煙のおそれがあります。
- 加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、やけどをすることがあります。そのまま20～30秒ほど冷ましてから取り出してください。
- ふたやラップを使用する場合はすき間を開けてください。

# 使いかた | 自動メニュー トーストを焼く

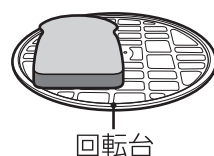


## 1 丸皿を取り外しトーストを置く

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に「0」を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

※回転台は外さないでください。  
※トーストは2枚まで焼くことができます。

例：トースト 1 枚のとき



## 2 を押す

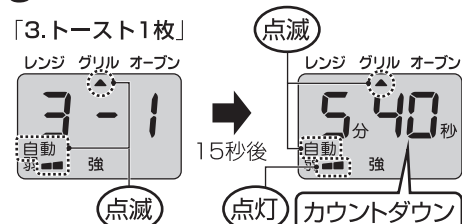
- 「トーストを1枚焼く(3-1)」場合は1回押す
  - 「トーストを2枚焼く(3-2)」場合は2回押す
- ※押すたびに「3-1(1枚)」→「3-2(2枚)」が切り替わります。



## 3 お好みに合わせて を押し、仕上がり調節する

## 4 を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 動作中は冷却ファンが自動で「ON/OFF」します。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



約15秒後に残り時間が表示されるまでは、お好みで加熱温度を調節できます。

## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には「0」を表示します。
  - 庫内が熱くなっていますので注意して取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の「0」が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に「Fan」を表示します。

### 加熱が足りないときは…

グリルの手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。  
→23ページ参照

### お願い

- 調理後は庫内が熱くなっています。食品の出し入れの際は、やけどをしないように注意してください。
- 続けて調理する場合は、ドアを開け庫内が冷えてから調理を行ってください。

# 使いかた | 自動メニュー お弁当やお惣菜などをあたためる

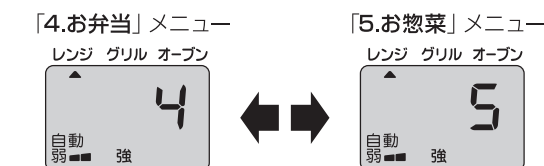


## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に「0」を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

## 2 を押し、メニューを選択する

- 「4.お弁当」メニューを選択する場合は1回押す
  - 「5.お惣菜」メニューを選択する場合は2回押す
- ※押すたびに「4.お弁当」メニュー→「5.お惣菜」メニューが切り替わります。

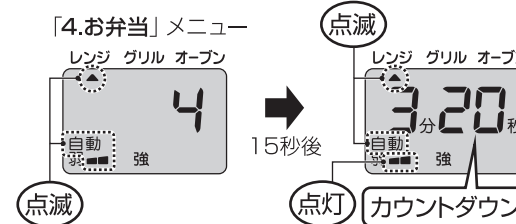


### 仕上りの強さを調節したいときは…

- 加熱時間が1~2割長くなります。
- 加熱時間が1~2割短くなります。

## 3 を押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



約15秒後に残り時間が表示されるまでは、お好みで仕上りの強さを調節できます。

## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には「0」を表示します。
  - 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の「0」が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に「Fan」を表示します。

### 加熱が足りないときは…

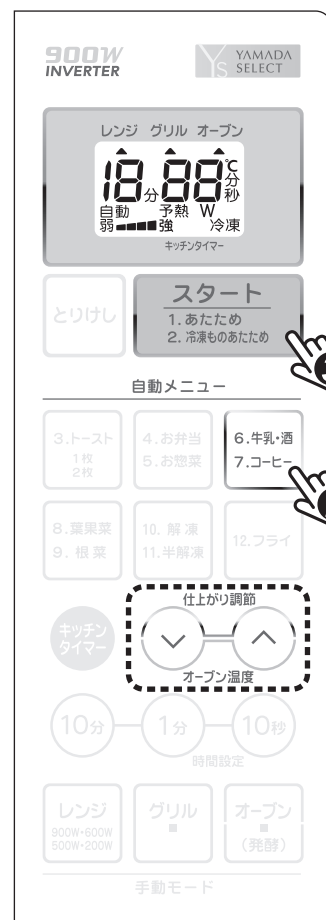
レンジの手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。  
→21~22ページ参照

### お知らせ

- 加熱時間は、料理の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたため/スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「とりけし」キーを押して、設定を解除(表示部は「0」を表示)してください。



# 使いかた | 自動メニュー 飲み物(牛乳やコーヒーなど)をあたためる

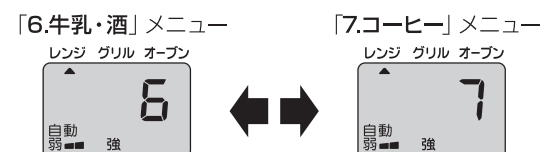


## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

## 2 を押し、メニューを選択する

- 「6.牛乳・酒」メニューを選択する場合は1回押す
- 「7.コーヒー」メニューを選択する場合は2回押す
- ※ 押すたびに「6.牛乳・酒」メニュー → 「7.コーヒー」メニューが切り替わります。

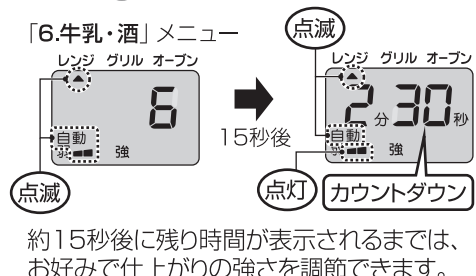


仕上りの強さを調節したいときは…

- ⬆ 加熱時間が1～2割長くなります。
- ⬇ 加熱時間が1～2割短くなります。

## 3 スタートを押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



約15秒後に残り時間が表示されるまでは、お好みで仕上りの強さを調節できます。

## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- ※ 加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に“FRn”を表示します。

加熱が足りないときは…

レンジの手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。  
→21～22ページ参照



**警告**

**飲み物を加熱しすぎない(突沸に注意)**

- 加熱後取り出したあとに、突然の沸騰による飛び散りなどでやけどの原因となります。

### お知らせ

- 加熱時間は、料理の種類や分量によって異なります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたため/スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「とりけし」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。

# 使いかた | 自動メニュー 野菜をゆでる

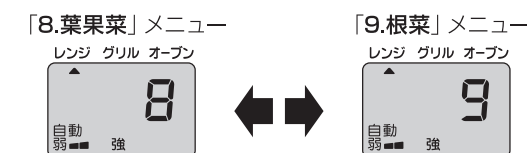


## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。
- 直接ラップに包んで丸皿にのせてください。
- ※ 容器を使用して加熱しないでください。容器を使用して加熱すると加熱しすぎになります。

## 2 を押し、メニューを選択する

- 「8.葉果菜」メニューを選択する場合は1回押す
- 「9.根菜」メニューを選択する場合は2回押す
- ※ 押すたびに「8.葉果菜」メニュー → 「9.根菜」メニューが切り替わります。

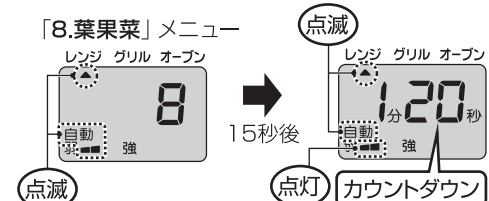


仕上りの強さを調節したいときは…

- ⬆ 加熱時間が1～2割長くなります。
- ⬇ 加熱時間が1～2割短くなります。

## 3 スタートを押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



約15秒後に残り時間が表示されるまでは、お好みで仕上りの強さを調節できます。

## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- ※ 加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に“FRn”を表示します。

加熱が足りないときは…

レンジの手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。  
→21～22ページ参照

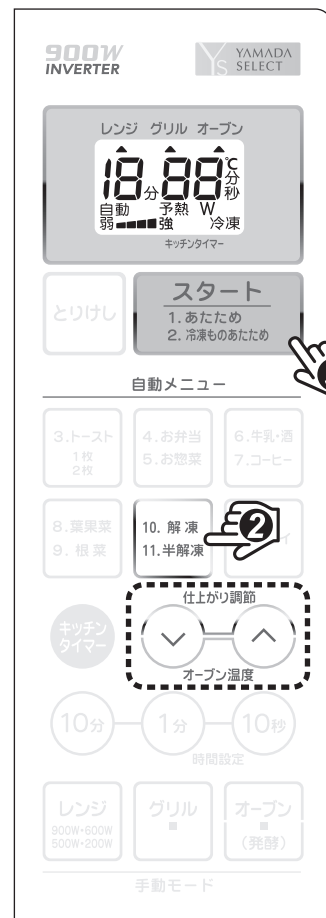
### お知らせ

- 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らすと、よりムラなく仕上がります。
- 加熱時間は、料理の種類や分量によって異なります。
- 野菜はゆで上がり後水に浸すと、色鮮やかに加熱のしすぎを防ぎます。



# 使いかた

## 自動メニュー 解凍・半解凍する

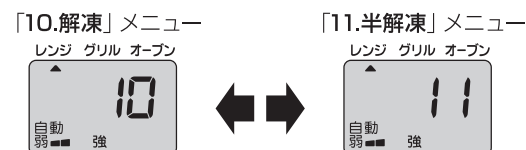


### 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に「0」を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

### 2 を押し、メニューを選択する

- 「10.解凍」メニューを選択する場合は1回押す
  - 「11.半解凍」メニューを選択する場合は2回押す
- ※押すたびに「10.解凍」メニュー → 「11.半解凍」メニューが切り替わります。

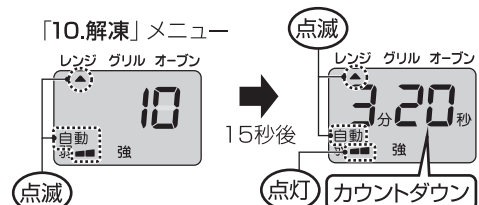


仕上がりの強さを調節したいときは…

- △ 加熱時間が1～2割長くなります。
- ▽ 加熱時間が1～2割短くなります。

### 3 スタートを押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



約15秒後に残り時間が表示されるまでは、お好みで仕上がりの強さを調節できます。

### できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には「0」を表示します。
  - 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の「0」が消灯)になります。

解凍が足りないときは…

レンジの手動調理出力200Wで解凍時間を設定し、様子を見ながら追加解凍してください。→21～22ページ参照

#### お知らせ

- 庫内や丸皿が熱いときは、ドアを開けて庫内が冷えてから解凍・半解凍をしてください。
- 食品の形状、解凍開始時の食品温度によっては、部分的に煮えることがあります。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたため/スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「とりけし」キーを押して、設定を解除(表示部は「0」を表示)してください。

# 使いかた

## 自動メニュー 揚げ物(フライや唐揚げなど)をあたためる



### 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に「0」を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

### 2 を押し

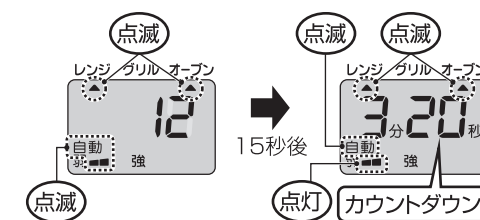
- 「12.フライ」メニューが表示されます。



### 3 お好みに合わせて△▽を押し、仕上がりを調節する

### 4 スタートを押す

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



約15秒後に残り時間が表示されるまでは、お好みで仕上がりの強さを調節できます。

一度に加熱できる分量  
100～300g

### できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には「0」を表示します。
  - 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の「0」が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に「Fan」を表示します。

加熱が足りないときは…

グリルの手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。  
→23ページ参照

#### お願い

- 調理後は庫内が熱くなっています。食品の出し入れの際は、やけどをしないように注意してください。
- 続けて調理する場合は、ドアを開け庫内が冷えてから調理を行ってください。



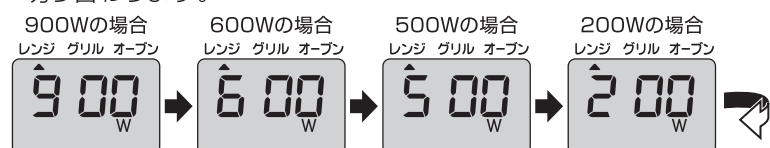
## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

## 2 を押して出力を設定する

- 出力が表示されます。

※押すたびに「900W」→「600W」→「500W」→「200W」と切り替わります。



## 3 を押して時間を設定する

- 20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

設定できる時間

900W…10秒～15分まで

600W…10秒～30分まで

500W…10秒～30分まで

200W…10秒～60分まで

※900Wでの連続運転は約2分です。その後、自動で600Wに切り替わります。  
※時間設定キーを押したあとに出力を変える場合は、「とりけし」キーを押して手順2からやり直してください。

5分30秒と設定した場合



## 4 を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱が始まります。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に“Fan”を表示します。



### 警告

- 設定時間を控えめに様子を見ながら加熱してください。
- 900Wの出力で飲み物をあたためた場合、突沸による飛び散りなどでやけどをするおそれがあります。

### お願い

- 続けて調理する場合は、ドアを開け庫内が冷えてから調理を行ってください。

### お知らせ

- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたため/スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「とりけし」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。

## 上手にレンジを使うポイント

### 上手に調理(加熱)するために…

お弁当などは1個ずつあたためる

- 上下に積み重ねたりすると上手にあたためません。

容器は必ず確認する

- 発泡スチロールや耐熱性のない容器は、あたためないでください。

ゆでる・煮るなどの調理は、食材の厚みや大きさをそろえる

- 厚みや大きさをそろえることにより、加熱ムラを少なくすることができます。
- 加熱後、庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らすと、よりムラなく仕上がります。

加熱の途中で、裏返したりかき混ぜる

- 加熱ムラを少なくすることができます。

卵はそのまま加熱しない

- 大爆発(破裂)し大変危険です。
- 卵を加熱するときは、よく割りほぐしてください。ゆで卵のあたためもしないでください。

### 上手に解凍するために…

手動設定で解凍するときは、必ず200Wの出力で解凍する

ラップやふた、飾りは外して解凍する

- ラップなどに包んで冷凍した食品は、平らな皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

解凍前に常温で放置しない

- 冷凍庫から出してすぐに解凍することをお勧めいたします。食品から水(汁)が出るなどして風味や鮮度を損なう原因となります。

加熱調理を行ったあとは、庫内が十分に冷えてから解凍する

- 加熱調理を行ったあとに解凍をするときは、ドアを開け十分に庫内が冷えてから解凍してください。

食材の厚みや大きさをそろえる

- 食材の大きさ、厚さをそろえて冷凍しておくとうまく解凍できます。

## 野菜をゆでるときのポイント

### 葉・果菜類

洗ったあとの水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして丸皿にのせます。

※容器を使用しないでください。

葉菜類

- 葉と茎を交互に重ねます。(太い部分は包丁で切り込みを入れてください)
- アクのある野菜(ほうれん草・春菊・小松菜など)は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水に取って色止めをします。
- 量が多いとき(300g以上)は、半分に分けてラップに包んでください。

果菜類

- 大きさをそろえて切ります。
- アクのある野菜(なす・ブロッコリー・カリフラワーなど)は、加熱前に食塩水につけてアク抜きをします。
- 色の濃い野菜(なす・ブロッコリー・さやいんげん・グリーンアスパラガスなど)は、加熱後すぐに流水にさらしてアク抜きをし、その後冷水にとって色止めをします。

### 根菜類

ラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして丸皿にのせます。

※容器を使用しないでください。

丸のままゆでるとき

- 洗って、皮付きのままラップに包みます。
- 2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べます。
- 加熱の途中で一度上下を返します。
- じゃがいも・さつまいも・さといもなどは、加熱後庫内から取り出し、ラップをしたまま5分ほど蒸らします。

切ってゆでるとき

- 皮をむき、大きさをそろえて切ります。

※小さく切ったものや少量で加熱すると、火花が出て焦げたり、乾燥することがあります。様子を見ながら加熱してください。

※食品の出し入れの際は、やけどをしないように注意してください。

# 使いかた

手動モード

グリルを使う

手動調理



## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

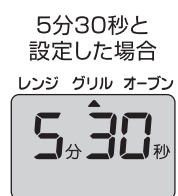
## 2 [グリル] を押す

## 3 [10分] [1分] [10秒] を押して時間を設定する

- 10秒～30分の設定ができます。
- 20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。
- 温度の設定はできません。

## 4 [スタート] を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱が始まります。
- 動作中は冷却ファンが自動で「ON／OFF」します。
- 加熱を途中でとりけしたいときは、「とりけし」キーを押してください。



## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に“Fan”を表示します。

### お願い

- 調理後は庫内が熱くなっています。食品の出し入れの際は、やけどをしないように注意してください。
- 続けて調理する場合は、ドアを開け庫内が冷えてから調理を行ってください。

### お知らせ

- 加熱中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉め「あたため／スタート」キーを押すと残りの加熱を再開します。加熱が不要なときは「とりけし」キーを押して、設定を解除(表示部は“0”を表示)してください。

# 使いかた

手動モード

オープンを使う(予熱あり)

手動調理



## 1 丸皿を取り外し [オープン(発酵)] を押す

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

### 使用上のご注意

- 予熱のときは丸皿を入れないでください。(焼き上がりが悪くなります)

## 2 [10分] [1分] [10秒] を押して温度を設定する

- 10℃単位で100℃～200℃の範囲で設定できます。

## 3 [スタート] を押す

- 庫内灯が点灯し、予熱が始まります。
- 動作中は冷却ファンが自動で「ON／OFF」します。

## 予熱完了

- 「ピッ、ピッ」と電子音で予熱の完了をお知らせします。
- ※約15分間予熱を保持します。(予熱温度が200℃のとき、約10分後に温度が180℃まで下がります)
- ※消音モード設定中でも、予熱完了音が鳴ります。

## 4 丸皿をセットし食品を庫内に入れる

- ※庫内が高温になっていますので、やけどにご注意ください。

## 5 [10分] [1分] [10秒] を押して時間を設定する

- 10秒～90分の設定ができます。
- 20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。

## 6 [スタート] を押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱が始まります。
- 動作中は冷却ファンが自動で「ON／OFF」します。

## できあがり(加熱終了)

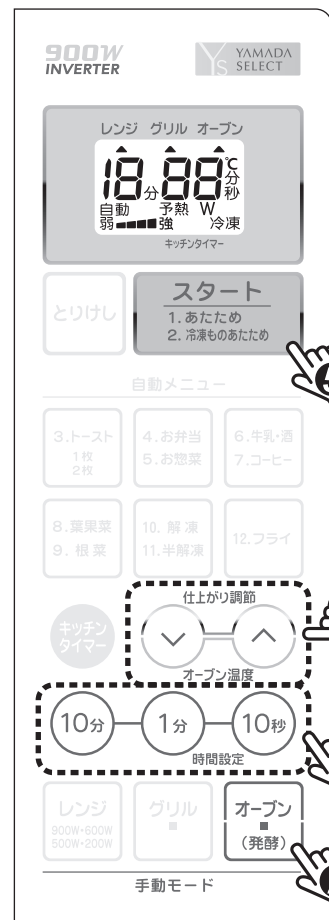
- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- ※加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に“Fan”を表示します。

### お願い

- 調理後は庫内が熱くなっています。食品の出し入れの際は、やけどをしないように注意してください。
- 続けて調理する場合は、ドアを開け庫内が冷えてから調理を行ってください。



# 使いかた | 手動モード オーブンをを使う(予熱なし・発酵) 手動調理

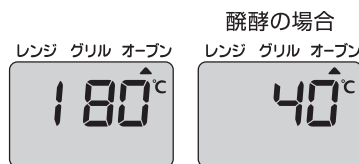


## 1 食品を庫内に入れる

- ドアを開けると「電源入り」の状態となり、表示部に“0”を表示します。
- 表示部が消灯したときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。

## 2 オーブンを2回押す

- オーブンを3回押すと発酵になります。



## 3 温度を設定する

- オーブン使用時は10°C単位で100°C～200°Cの範囲で設定できます。
- 発酵時は35°Cと40°Cの温度設定ができます。

## 4 時間を設定する

- 10秒～90分の設定ができます。
- 20分以上に設定する場合は、秒は設定できません。
- ※ 時間設定キーを押したあと、出力を変更する場合は、とりけしキーを押して手順2からやり直してください。



## 5 スタートを押す

- 庫内灯が点灯し、残り時間が表示され、加熱が始まります。
- 動作中は冷却ファンが自動で「ON／OFF」します。



## できあがり(加熱終了)

- 終了音が鳴り、庫内灯が消え、表示部には“0”を表示します。
- 食品を取り出してください。
- ※ 加熱終了後、食品を取り出さないとお知らせ音が1分ごとに5回鳴り、5分後に待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- ※ 加熱終了後、本体が高温のときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 冷却中は表示部に“Fan”を表示します。

### お願い

- 調理後は庫内が熱くなっています。食品の出し入れの際は、やけどをしないように注意してください。
- 続けて調理する場合は、ドアを開け庫内が冷えてから調理を行ってください。

# 使いかた | キッチンタイマー

設定した時間までの残り時間を表示し、お知らせ音が鳴ります。  
表示部に“0”と表示されている間のみご使用できます。

※待機状態(表示部の“0”が消灯)のときは、ドアを開閉して「電源入り」の状態にしてください。  
※消音モード設定中でも、キッチンタイマーお知らせ音が鳴ります。



## 1 キッチンタイマーを押す

- 表示部に“▼”と「時間」を表示します。



## 2 時間を設定する

- 設定時間は最大は「90分」です。
- 設定時間が20分以上の場合は、秒の設定はできません。



## 3 スタートを押す

- タイマー動作を開始します。
- タイマー動作を中止するときは、「とりけし」キーを押してください。



## 4 時間になると、お知らせ音が鳴る

- 設定時間が終わったら「ピッ、ピッ、ピッ」と10回お知らせ音が鳴り、表示部に“0”と表示します。
- 5分間操作しない場合は、待機状態(表示部の“0”が消灯)になります。
- お知らせ音を止める場合はとりけしキーを押してください。

### お知らせ

- キッチンタイマーの動作中は、ドアを開閉しても動作を継続します。
- キッチンタイマー動作中は、加熱調理はできません。
- 消音モード設定中でも、キッチンタイマーのお知らせ音は鳴ります。

# 使いかた | 消音モード

操作音・加熱終了音・お知らせ音が鳴らないように設定できます。

とりけしを約3秒間押すと消音モードになり、操作音・終了音・お知らせ(取り出し忘れ)音が鳴らなくなります。

- 同様の操作で、消音モードを解除することができます。解除する際は、お知らせ音が1回鳴ります。
- 消音モードの「設定」「解除」は表示部に“0”を表示している場合のみ切り替えできます。
- 消音モード設定中でも、キッチンタイマーのお知らせ音は鳴ります。

# 使いかた | チャイルドロック設定

小さな子供の誤った操作による事故やけがを防ぐため、チャイルドロック機能が備えられています。表示部に“**0**”と表示されている間のみご使用できます。  
※待機状態（表示部の“**0**”が消灯）の場合は、ドアを開閉すると“**0**”を表示します。



- 1** **とりけし**を押しながら **スタート**を押す
- 表示部に“**[ ]**”と表示され、チャイルドロック状態になります。
  - チャイルドロック中は表示部に“**[ ]**”と表示され、すべてのキー操作ができません。



- 2** もう一度 **とりけし**を押しながら **スタート**を押すとチャイルドロックが解除される

- 表示部に“**0**”と表示され、チャイルドロックが解除されます。



## お知らせ

- 加熱などに使用されるときは、チャイルドロックを解除してください。
- 調理中はチャイルドロックを設定できません。
- 電源プラグを抜いてもチャイルドロックは解除されません。

## 愛情点検 長年ご使用のオーブンレンジの点検を！

	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"><li>●本体が変形したり、異常に熱い。</li><li>●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。</li><li>●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。</li><li>●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。</li><li>●異常なおいや音、振動がする。</li><li>●ドアに著しいガタや変形がある。</li><li>●ビリビリと電気を感じる。</li></ul>	こんなときは	使用を中止してください。 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
	こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。		ホコリやゴミを取り除いてください。

# お手入れ

お手入れはこまめに行ってください  
(必ず電源プラグをコンセントから抜き、  
本体が冷えてから行ってください)

## ⚠ 注意

本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

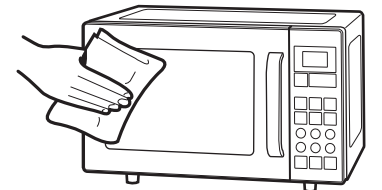
### 電源プラグ

柔らかい乾いた布などで拭いてください。液体は使わないでください。



### 本体外側

本体外側は柔らかい乾いた布などで拭いてください。  
汚れが落ちにくいときは水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、よく拭きとってください。



### 庫内

かたくしぼったぬれふきんで拭いてください。  
汚れが落ちにくいときは

- ① 耐熱容器にお湯または水を入れて庫内に置く。
- ② レンジ(手動調理)の600Wで1分～2分加熱する。(→21 ページ参照)
- ③ 5分程そのまま放置する
- ④ ドアを開け、熱さを確かめながらやけどに注意してふきんで庫内を拭きとります。

## ⚠ やけどに注意

### 丸皿

柔らかいスポンジで汚れを落としたあと、柔らかい乾いた布で水気をよく拭きとってください。



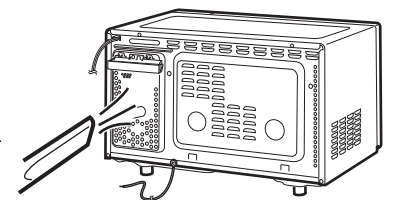
### 回転台

水気が残っているとサビるおそれがあります。  
水気をとり、よく乾燥させてください。



### 吸気口・排気口

柔らかい乾いた布などで拭いてください。  
ホコリが吸気口などに入り込んでいるときは、掃除機のノズルなどを使ってホコリを吸いとります。



## ⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、冷えてから行ってください。感電・やけど・けがをする原因となります。
- ガソリン・シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤・灯油・ベンゾール・アルコール・みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因となります。
- ヒーターはお手入れの際、強くさわると破損するおそれがあります。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなとき	おたしかめください
まったく動かない	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグが抜けていませんか？</li><li>●停電ではありませんか？</li><li>●ブレーカーが切れていませんか？</li><li>●調理中にドアを開閉しませんでしたか？</li></ul>
キーを押しても何も反応がない	<ul style="list-style-type: none"><li>●表示部に“<b>E</b>”を表示していますか？ ➡電源が OFF（待機状態）になっている場合はドアを開閉し“<b>E</b>”表示が出てから操作してください。</li><li>●チャイルドロックが設定されていませんか？ ➡チャイルドロックの設定を解除してください。</li></ul>
スタートを押しても加熱しない	<ul style="list-style-type: none"><li>●ドアが正しく閉まっていますか？ ➡再度ドアを閉めなおしてください。</li><li>●メニューは選びましたか？（出力・時間の設定はしましたか？）</li><li>●チャイルドロックが設定されていませんか？ ➡チャイルドロックの設定を解除してください。</li></ul>
すぐに加熱が止まる	<ul style="list-style-type: none"><li>●庫内が熱いときは、温度センサーが働き加熱を止めることがあります。 ➡ドアを開けて庫内が冷えてから加熱してください。</li></ul>
回転しない 回転ムラがある	<ul style="list-style-type: none"><li>●回転台・丸皿を正しくセットしていますか？</li><li>●食品（容器）が庫内の壁に触れていませんか？</li></ul>
食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"><li>●金属容器やアルミホイルを使っていませんか？</li></ul>
レンジ調理のときに火花が出る	<ul style="list-style-type: none"><li>●金属容器やアルミホイルを使っていませんか？</li><li>●金粉・銀粉などの飾りのついた容器を使っていませんか？</li></ul>
煙が出る いやなにおいがする	<ul style="list-style-type: none"><li>●購入後に空焼きされましたか？</li><li>●庫内やドアに、調理物や煮汁などの油、液体がついていませんか？</li><li>●調理の設定時間が長くないですか？</li><li>●少量の食品を加熱してないですか？</li></ul>
加熱中に上ヒーターがついたり消えたりする	<ul style="list-style-type: none"><li>●メニューによりヒーター出力を調節しています。故障ではありません。</li></ul>
加熱中に「カチカチ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"><li>●機械のスイッチ切り替え音です。故障ではありません。</li></ul>
加熱中に庫内から「ボコン」と鳴ったり、きしむような音がする	<ul style="list-style-type: none"><li>●ヒーター（グリル／オープン）加熱をしているとき、熱で庫内壁面が膨張すると音がすることがあります。</li></ul>
ドアがくもり水滴が落ちる	<ul style="list-style-type: none"><li>●食品から水分や水蒸気が出るがありますが本体には影響ありません。</li></ul>
加熱終了後に「ブーン」と音がする	<ul style="list-style-type: none"><li>●冷却用のファンが回っている音です。電源プラグを抜かないでください。</li></ul>

■エラー表示（エラー音が鳴ります。）

C11	<ul style="list-style-type: none"><li>●「0 点調整」時に回転台と丸皿をセットしていません。 ➡確実にセットして「0 点調整」を行ってください。 ※丸皿の上には何も置かないでください。（➡12 ページ参照）</li></ul>
C20	<ul style="list-style-type: none"><li>●食品の量が多すぎます。➡とりけしキーを押して、分量を減らしてください。</li></ul>
上記エラー表示以外	<ul style="list-style-type: none"><li>●製品が故障している場合があります。 ➡ご使用を中止して電源プラグを抜き、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</li></ul>

点検後、異常がある場合は、お客様ご自身で修理せずにお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、30ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

# 修理サービスについて

- (1) 保証書
- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。
- (2) 修理を依頼されるとき
- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
  - 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- (3) 補修用性能部品の保有期間
- このオープンレンジの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後8年です。
- (4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。
- (5) 修理サービスについてご不明な場合
- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

## 株式会社ヤマダホールディングス

### お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。